

研究課題名	転移再発 luminal 乳がん患者の炎症・栄養指標と予後との関連
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 乳腺・内分泌外科
研究責任者(職名)	山之内孝彰 (診療科長)
研究期間	承認日 ～ 2026 年 12 月 31 日
研究目的と意義	この研究では、転移または再発した「luminal (ルミナル) 型乳がん (女性ホルモンの影響を受けるタイプの乳がん)」の患者さんを対象に、治療を始める前の血液検査のデータ (リンパ球数やヘモグロビン値、栄養状態を示す指標など) が、その後の生存期間や治療の継続にどのように関係しているかを調べます。 ルミナル型乳がんは乳がんの中でも最も多いタイプであり、再発や転移をした場合には長期にわたる薬物治療が必要になることがあります。こうした中で、血液検査でわかるような体の炎症や栄養状態が、その後の治療や経過にどのような影響を与えるかを知ることは、患者さん一人ひとりに合わせた治療やサポートを考えるうえでとても重要です。 この研究により、血液検査で簡単にわかる指標が将来の治療方針を考える手がかりとなり、治療の効果を高めたり、生活の質 (QOL) を向上させることにつながる可能性があります。
研究内容	●対象となる患者さん 当院にて 2018 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に診断された、再発・転移をしたルミナル型乳がんの患者さんで、薬剤による治療を受けた患者さん ●利用する情報 ・年齢、性別、体重 ・乳がんのステージ、転移や再発の部位 ・血液生化学検査；リンパ球数、ヘモグロビン、好中球数、アルブミン ・薬剤による治療の内容・継続期間 ・全生存期間、全治療継続期間 ●研究方法 上記の情報をカルテより収集し、下記について検討します。 ・リンパ球数やヘモグロビン値、栄養状態を示す指標と全生存期間、全治療継続期間との関連
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町 6 番 3 9 号 電話：095 (822) 3251 (内線 3553) 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)